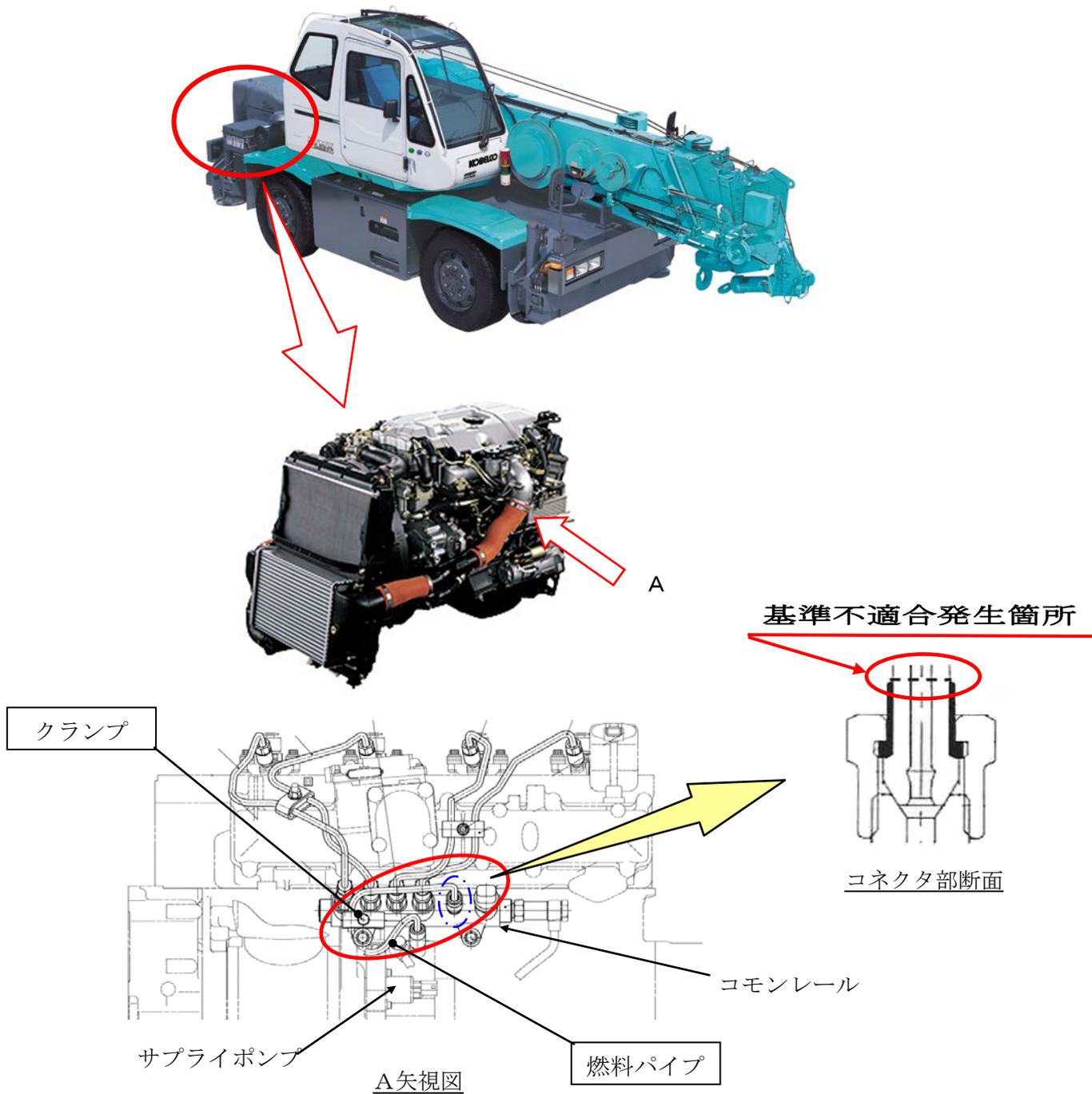


原動機において、燃料パイプ製造時に発生するコネクタ部内部のしわにばらつきがあり、また、パイプコネクタ部の締付トルクが低いものがある。このため、高い燃料圧力が加わることにより、当該しわ部を起点とした亀裂が発生し、燃料が漏れるおそれがある。

改善措置の内容

全車両、燃料パイプからの燃料漏れ（にじみ、滴下含む。）の有無を点検し、漏れ（にじみ、滴下含む。）が確認された燃料パイプは高圧仕様のものに交換し、新規設定の締付トルクで締付ける。漏れ（にじみ、滴下含む。）がないものは、新規設定の締付トルクで締付ける。

注：□は、交換、または新規設定の締付トルクで締付ける部品を示す。



原動機において、サプライポンプとコモンレール間の燃料パイプを固定するクランプを付け忘れたものがある。そのため、エンジンの振動によりパイプに亀裂が発生し、燃料が漏れるおそれがある。

改善措置の内容
 全車両、サプライポンプとコモンレール間のパイプクランプの有無を確認し、クランプが取り付けられていない場合は、燃料パイプを交換し、クランプで固定する。

注：□は、交換または追加部品を示す。